



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月3日

上場会社名 株式会社UACJ 上場取引所 東
 コード番号 5741 URL <http://www.uacj.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 満
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 飯田 晴央 TEL (03)6202-2600(代)
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	417,179	△2.5	17,253	46.2	12,830	47.0	4,697	△13.5
28年3月期第3四半期	428,051	0.4	11,797	△45.3	8,730	△55.7	5,428	△43.3

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △2,089百万円 (ー%) 28年3月期第3四半期 1,507百万円 (△93.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	10.98	ー
28年3月期第3四半期	12.69	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	675,383	173,752	23.6	372.98
28年3月期	662,543	178,582	24.9	385.88

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 159,488百万円 28年3月期 165,030百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	ー	3.00	ー	3.00	6.00
29年3月期	ー	3.00	ー		
29年3月期(予想)				3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	550,000	△4.5	23,000	51.2	18,000	49.9	7,000	37.1	16.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 詳細は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 2社 （社名）UACJ North America Inc. 、 UACJ Automotive Whitehall Industries, Inc.

(注) 詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	428,281,934株	28年3月期	428,281,934株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	672,336株	28年3月期	607,582株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	427,646,659株	28年3月期3Q	427,730,060株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国や欧州においては緩やかな景気回復が持続した一方、中国においては景気が緩やかに減速しております。新興国においては各国ばらつきがありますが、全体としては回復基調であります。我が国経済は、一部に改善の遅れもみられますが、緩やかな回復基調が続いております。

しかしながら米国新政権による保護主義的政策や強硬な移民政策が予想され、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループの業績については、対前年同期での地金価格下落の影響を受け、売上高は417,179百万円（前年同期比2.5%減）となりました。損益におきましては、売上数量の増加やコストダウン等により、営業利益は17,253百万円（同46.2%増）、経常利益は12,830百万円（同47.0%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益については、特別利益として受取保険金を計上した前年同期を下回り、4,697百万円（同13.5%減）となりました。

セグメント別の状況については、以下のとおりであります。

アルミ圧延品事業

国内アルミニウム圧延品業界の需要については、板類では、缶化率の高い低アルコール飲料の需要が増加したことや、ボトル缶需要が引き続き堅調であったことから飲料缶用の需要は対前年微増となりました。自動車分野においても、乗用車の国内生産が堅調であったことから外板パネルの需要が伸長いたしました。さらには半導体及び液晶製造装置の需要が活況を呈しており、部材として使用されるアルミ厚板の数量も大幅増となりました。これらの結果として、内需全体で前年を上回る実績となりました。押出類に関しては、トラック・バス関連需要が引き続き好調なことに加え、主力の建築関連需要が徐々に回復傾向を示しており、内需総量も前年を超える結果となりました。

当社グループの国内向け売上数量についても上記全体需要とほぼ同様の傾向であり、板押出ともに前年を超える結果となりました。

また、タイ王国の板圧延工場（UACJ（THAILAND）CO.,LTD.）の一貫生産本格化や、米国ローガン工場から自動車パネル用アルミニウム材事業合弁会社（Constellium-UACJ ABS LLC）向けに母材の供給を開始したことにより、グループ全体での売上数量についても大幅に増加いたしました。

このような販売状況であったものの、対前年同期での地金価格下落の影響を受け、当第3四半期連結累計期間のアルミ圧延品事業の売上高は、331,985百万円（前年同期比2.5%減）となりました。営業利益については、売上数量の増加やコストダウン等により、18,569百万円（同37.9%増）となりました。

伸銅品事業

主要用途であるエアコンの出荷台数が総じて堅調に推移したことにより、当社グループの銅管の売上数量は前期を上回りました。一方で銅地金価格は、期末にかけて上昇したものの当第3四半期連結累計期間を通じて低調であったことから、当第3四半期連結累計期間の伸銅品事業の売上高は31,935百万円（前年同期比10.0%減）となりました。また、低調な地金価格に伴う棚卸評価関係の悪化の影響等により、営業利益は、325百万円（同42.1%減）となりました。

加工品・関連事業

主要顧客の需要減退等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は122,501百万円（前年同期比3.2%減）となりました。営業利益は2,791百万円（同4.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したものの、円高による為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末と比べて4,830百万円減少し、173,752百万円となりました。

総資産については、ほぼ前連結会計年度末並の675,383百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、第3四半期までの実績を踏まえて、国内及びタイの缶材や、IT関連向けなどの分野で販売量が当初見込みより減少する見通しである事等を主因として、平成28年5月11日に公表した予想を修正し、売上高5,500億円、営業利益230億円、経常利益180億円、親会社株主に帰属する当期純利益70億円を見込んでおります。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回平成28年5月11日 公表予想	百万円 600,000	百万円 24,500	百万円 20,000	百万円 9,000
今回公表予想	550,000	23,000	18,000	7,000

なお、期末配当につきましては1株につき3円を予定しており、前回公表予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、UACJ North America Inc.は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

また、第1四半期連結会計期間において、UACJ Automotive Whitehall Industries, Inc.を設立し、同社を通じてSRS Industries, LLCの全持分を取得したため、両社及びSRS Industries, LLCのグループ会社を連結の範囲に含めております。

なお、UACJ Automotive Whitehall Industries, Inc.は、取得後にSRS Industries, LLCを吸収合併しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,934	18,827
受取手形及び売掛金	115,103	117,455
商品及び製品	30,780	29,158
仕掛品	47,617	47,341
原材料及び貯蔵品	30,875	33,898
その他	20,120	24,408
貸倒引当金	△20	△21
流動資産合計	263,409	271,066
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	63,566	60,174
機械装置及び運搬具（純額）	93,100	91,598
土地	115,150	114,966
その他（純額）	21,088	25,630
有形固定資産合計	292,904	292,369
無形固定資産		
のれん	43,232	50,491
その他	17,580	17,177
無形固定資産合計	60,812	67,668
投資その他の資産		
投資有価証券	29,363	27,555
その他	16,136	16,837
貸倒引当金	△81	△112
投資その他の資産合計	45,419	44,280
固定資産合計	399,135	404,316
資産合計	662,543	675,383

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	99,090	106,487
短期借入金	63,921	56,057
1年内償還予定の社債	2,500	2,500
1年内返済予定の長期借入金	47,714	39,420
その他	36,560	31,960
流動負債合計	249,784	236,424
固定負債		
社債	5,000	2,500
長期借入金	169,871	198,858
退職給付に係る負債	18,814	18,802
その他	40,492	45,046
固定負債合計	234,177	265,206
負債合計	483,961	501,630
純資産の部		
株主資本		
資本金	45,000	45,000
資本剰余金	73,041	73,041
利益剰余金	36,103	38,234
自己株式	△214	△233
株主資本合計	153,931	156,043
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,184	2,439
繰延ヘッジ損益	△1,003	△772
為替換算調整勘定	9,649	827
退職給付に係る調整累計額	1,270	952
その他の包括利益累計額合計	11,100	3,446
非支配株主持分	13,552	14,264
純資産合計	178,582	173,752
負債純資産合計	662,543	675,383

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	428,051	417,179
売上原価	378,727	361,580
売上総利益	49,325	55,599
販売費及び一般管理費	37,527	38,346
営業利益	11,797	17,253
営業外収益		
受取利息	108	640
受取配当金	336	423
その他	1,215	851
営業外収益合計	1,658	1,914
営業外費用		
支払利息	2,523	3,140
その他	2,202	3,196
営業外費用合計	4,725	6,336
経常利益	8,730	12,830
特別利益		
固定資産売却益	89	106
受取保険金	3,036	-
その他	272	14
特別利益合計	3,397	120
特別損失		
固定資産除却損	488	452
減損損失	-	321
その他	15	499
特別損失合計	504	1,272
税金等調整前四半期純利益	11,624	11,678
法人税、住民税及び事業税	2,234	5,865
法人税等調整額	3,452	565
法人税等合計	5,686	6,430
四半期純利益	5,938	5,248
非支配株主に帰属する四半期純利益	510	552
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,428	4,697

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	5,938	5,248
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△132	1,254
繰延ヘッジ損益	△558	542
為替換算調整勘定	△5,398	△5,905
退職給付に係る調整額	1,842	△370
持分法適用会社に対する持分相当額	△184	△2,857
その他の包括利益合計	△4,430	△7,337
四半期包括利益	1,507	△2,089
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	938	△2,957
非支配株主に係る四半期包括利益	569	869

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アルミ圧延品 事業	伸銅品事業	加工品・関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	296,175	26,967	104,909	428,051	—	428,051
セグメント間の内部 売上高又は振替高	44,293	8,519	21,604	74,416	△74,416	—
計	340,468	35,487	126,513	502,468	△74,416	428,051
セグメント利益	13,466	561	2,919	16,946	△5,148	11,797

(注)1. セグメント利益の調整額△5,148百万円には、たな卸資産の調整額△75百万円、セグメント間取引消去△257百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,816百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アルミ圧延品 事業	伸銅品事業	加工品・関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	292,691	23,171	101,317	417,179	—	417,179
セグメント間の内部 売上高又は振替高	39,294	8,764	21,183	69,241	△69,241	—
計	331,985	31,935	122,501	486,421	△69,241	417,179
セグメント利益	18,569	325	2,791	21,685	△4,432	17,253

(注)1. セグメント利益の調整額△4,432百万円には、たな卸資産の調整額△16百万円、セグメント間取引消去△227百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,189百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。